



国際ロータリー2590地区

KAWASAKI ASAO ROTARY CLUB

川崎麻生ロータリークラブ

奉仕しよう  
みんなの人生を  
豊かにするために

会長 鈴木 昭弘

幹事 圓城寺 広明



大矢 紀

第 1355 回 例会記録 2021 年 11 月 12 日 (金) S.A.A.委員長 志村 幸男

【開会点鐘】鈴木 昭弘 会長【S.A.A.】佐藤 忠博 委員

【例会場】ホテルモリノ

【ソング】ロータリーソング『それでこそロータリー』

【ゲスト・ビジター紹介】鈴木 昭弘 会長

◆米山奨学生  
徐 菁一 さん  
左は蓬田会員



【幹事報告】圓城寺 広明 幹事

★例会変更 ◎川崎高津南RC

◇12/27(月)⇒ 12/20(月)へ変更 年末家族会

◇1/ 3(月) ⇒ 1/17 (月) へ変更 初例会

★地区大会について 11月27日の予定

10:15 JR 町田駅改札集合、会場近くで昼食後、会場入り、  
個人的に行く方は会場(パシフィコ横浜会議センター1F メ  
インホール)へ、12:00 登録開始、13:00 点鐘

【会長幹事会 報告】鈴木 昭弘 会長

※12月10日(水)ホテルモリノにて

◇地区大会について ・11月26日(金)は会長幹事と女性会  
員参加 ・11月27日(土)は地区内全会員参加 ・新会員  
紹介はスクリーンにて ・米山奨学生の紹介は壇上にて

◇インターシティミーティングは来年2月に行う予定。実施  
日:2022年2月7日(日)、サンピアン川崎にて、講演あり

◇ロータリアンマップ、卓話バンクについて

◇米山奨学生について

【会長報告】鈴木 昭弘 会長

1. ガバナー事務所より

○『米山奨学生を囲む集い』開催のご案内が届く。

12月4日(土)15:00~17:30 ホテルキャメロットジャパン

※大野地区米山学友委員と徐さん出席予定

○米山奨学生の地区大会登壇依頼が届いております。

※壇上で紹介の為

【出席委員会】梅澤 馨 委員長

例会	会員	出席	欠席	修正	出席率
1355 回	29	19	10		65.5%
1354 回	29	20	9	4	82.8%
1353 回	29	20	9	8	96.6%

【各委員会寄付】

委員会	第 1355 回(件数)	合計
ニコニコ委員会	18 件	¥18,000
ロータリー財団委員会	3 件	¥21,400
米山記念奨学委員会	1 件	¥25,000

第 1 3 5 6 回 例会	11月19日(金) フォーラム	百合ヶ丘カントリー倶楽部
第 1 3 5 7 回 例会	11月27日(土) 地区大会(11/26の振替)	パシフィコ横浜
第 1 3 5 8 回 例会	12月 3日(金) 年次総会	ホテルモリノ

【例会日】第1・2金曜日 12:30~13:30 【例会場】ホテルモリノ新百合丘7F TEL:044-953-5111

【例会日】第3・4金曜日 12:30~13:30 【例会場】百合ヶ丘カントリー倶楽部2F TEL:044-966-1300

※第5金曜日 休会または移動例会、他 連絡先:川崎麻生ロータリークラブ事務所 TEL:044-951-1322

## 【ニコニコ委員会 メッセージ】

◇鈴木昭弘会長

【徐さん、今日は卓話よろしく!!】

◇圓城寺広明幹事

【徐さん卓話お願いします】

◇大野勉会員【徐さん卓話宜しくです】

◇親松明会員【木村さん有難うございました】

◇佐々木範行会員【お世話になりました】

◇佐藤忠博会員【川崎さん先週お世話になりました】

◇鈴木憲治会員【本日税務署でイベントの為失礼します】

◇蓬田忠会員【少し早退します】

◇青戸慶太会員 ◇碓井美枝子会員 ◇宇津木茂夫会員

◇梅澤馨会員 ◇梶俊夫会員 ◇木村良三会員

◇花輪孝一会員 ◇森茂則会員 ◇山下俊也会員

◇雪井洋子会員 以上、ご協力ありがとうございました。

## 【ロータリー財団委員会 メッセージ】 碓井 美枝子 委員長

◇碓井美枝子会員

【R財団月間ですので、皆様寄付金はいくらかでも結構ですので1人でも多くの方の寄付をお願いいたします】

◇鈴木憲治会員

【11月はR財団月間です。よろしく!】

◇蓬田忠会員 ご協力有難うございました。

## 【米山記念奨学委員会 メッセージ】

宇津木クラブ奉仕委員長

◇鈴木憲治会員【11/1 米山奨学会広報委員会に出席してきました】

ご協力有難うございました。

## 【プログラム委員会】

12月24日は昼例会になり、内容は、〈マイロータリー〉の登録に関するお話を鈴木会長からして頂きます。食事はクリスマスなので、多少豪華な物になる予定です。

## 森 茂則 副委員長



## 【卓話】〈卒論の内容より〉 米山奨学生 徐菁一さん

日中の「断り」談話における「二回目の断り」表現の特徴



日本人と中国人、日本に居る中国人、などが誘われた時の断り方の研究です。

●グローバル化が進み⇒都市部、地方でも外国人が増加、その中でも中国人が多い。それは、●中国は人口が多く、日本と古くから密接な関係があり、同じ漢字圏である⇒日中の異文化接触の機会が増える⇒誤解やすれ違いが発生する

●社会文化規範によってコミュニケーション・スタイルは異なる  
●相手の「依頼」、「誘い」を断る場合もある。 ●ただ、相手との良い関係を保つために気をつける必要がある。●相手が納得するとは限らない時は、再度頼まれることがある。●二回目の断りはより断る側に負担をかける。

●そのような研究で、調査方法はアンケート形式です。

●対象者は日本人大学生と中国人大学生と日本の大学で勉強している中国人留学生です。

三つのグループについて調査をし、調査結果を分析しました。

-----その他、調査結果等は記載省略-----

このような研究結果を日本語教育現場で応用できればいいと思っています。

徐さん、有難うございました。

【四つのテスト】 花輪 孝一 会員

【閉会点鐘】 鈴木 昭弘 会長

【会報委員会】 山下 俊也 委員長

◇文責:森茂則 副委員長 ◇写真:山下俊也 委員長

